尾張徳川の足跡を訪ねて 19 ～カヤノキ～

名古屋城正門を入るとすぐ北側にある大木です。樹齢 600 年以上と伝えられています。尾張初代主義直公が大阪夏の陣に出陣するとき勝利を願ってこの木の実を食事の膳に盛ったとか。



義直公は大阪冬の陣（慶長 20 年（1614））が初陣で、翌年、春姫と結婚式をあげたのち、大阪夏の陣に出陣し、天王寺・岡山の戦いで勝利します。この故事にちなんで、縁起のよい木とされています。

名古屋城築城のおり、徳川家康公がこの木の下で普請の指図をしたという伝承もあるそうです。焼夷弾によって焼かれるも、力強くよみがえりました。